

授業科目 レクリエーション実技

【担当教員名】 佐近 慎平	対象学年	2	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 レジャー・レクリエーション支援場面における個人や集団とのコミュニケーションスキルを学ぶ。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 対人援助におけるホスピタリティスキルの基礎を習得する。 2. アイスブレイキングスキルの基礎を習得する。 3. 道具を用いないレクリエーションプログラムを指導できる。 				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーション レクリエーション実技とは	1	講義・実習	
2	ホスピタリティトレーニング1 非言語コミュニケーション（視覚）	1	講義・実習	
3	ホスピタリティトレーニング2 非言語コミュニケーション（触覚）	1	講義・実習	
4	ホスピタリティトレーニング3 言語コミュニケーション	2	講義・実習	
5	アイスブレイキングプログラム 基本隊形と同時発声・同時動作	1, 2, 3	実習	
6, 7, 8	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク	1, 2, 3	実習	
9, 10, 11, 12	小学生（高学年）を対象とした	1, 2, 3	実習	
13, 14, 15	スポーツ・レクリエーション	1, 2, 3	実習	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	レクリエーション支援の基礎 楽し さ・心地よさを活かす理論と技術	日本レクリエーション 協会	公益財団法人日本レク リエーション協会	2008・2,000円+税
その他の資料	授業に先立ち適宜配布			
【評価方法】 受講態度（30%）・実技試験（30%）・レポート（20%）・出席（20%）		【履修上の留意点】		